

123 番の歌 神の秩序にいつでも従う

会衆から除かれた人を助ける

「悔い改める1人の罪人については、悔い改める必要のない99人の正しい人についてよりも、大きな喜びが天にあるのです」。ルカ 15:7

ポイント：ある人が会衆から除かれる必要があるのはどうしてでしょうか。そうした人たちが悔い改めてエホバとの絆を取り戻せるよう、長老たちはどのように助けることができますか。

1-2. (ア) エホバは故意に犯す罪をどう見ていますか。(イ) エホバは罪を犯した人がどうすることを望んでいますか。

エホバは何でも許容する神ではなく、罪を見過ごしたりはしません。(詩 5:4-6 あなたは悪を喜ぶ神ではない。悪い人はあなたのもとにとどまれない。5 高慢な人はあなたの前に立てない。あなたは悪事を働く人全てを憎む。6 あなたはうそをつく人たちを滅ぼす。エホバは、暴力的で人を欺く者(*流血と欺きの人)をひどく嫌う) 私たちが聖書に書かれている神の正しい基準に従うことを願っています。もちろんエホバは、完璧ではない私たちに完璧であることを求めているわけではありません。(詩 130:3, 4 ヤハ(*)よ、もしあなたが過ちに注目(*を記録)するなら、エホバよ、誰が立っていられるでしょうか。4 あなたは本当に許す方。それで人はあなたに畏敬の気持ちを抱く)でも、「神への敬意がなく……神の惜しみない親切に付け込んで恥知らずな行い」をする人たちを大目に見ることはありません。(ユダ 4 なぜなら、皆さんの中に、聖書によってずっと前から有罪とされていた人たちが紛れ込んでいるからです。その人たちは神への敬意がなく、私たちの神の惜しみない(*過分の)親切に付け込んで恥知らずな行い(C*ギ語アセルゲイア)をし、私たちの唯一の所有者(*主人)である主イエス・キリストに不忠実です) 聖書にはハルマゲドンで起きる「神を敬わない人々の……滅び」について書かれています(ペテ二 3:7 同じ言葉によって、今ある天と地は火で滅ぼされることになっています。神を敬わない人々の処罰と滅びの日にそうなります。啓 16:16 それらの息(*言葉/ギ語 Pneuma)により、王たちはヘブライ語でハルマゲドン(*アルマゲドン/メギドの山という意味)と呼ばれる場所に集められた

2でも、エホバは誰も滅ぼされたいでほしいと思っています。この号の記事で考えてきた通り、聖書によれば、エホバは「全ての人が悔い改めることを望んでいます」。(ペテ二 3:9 エホバ(*)は約束を果たすのが遅いと考える人もいますが、そうではありません。神は、一人も滅ぼされることなく、全ての人が悔い改めることを望んでいるので、皆さんのことを辛抱しているのです) 長老たちはエホバに倣い、罪を犯した人が生き方を変えてエホバとの絆を取り戻せるように辛抱強く助けます。でも、全ての人が悔い改めるわけではありません。(イザ 6:9 すると神は言った。「行って、この民に言いなさい。『あなたたちは何度も聞くが、理解しない。何度も見るが、何も知るようにはならない』) 長老たちが繰り返し助けようとしても、悪い行いをやめない人もいます。ではそういう場合、長老たちはどうすべきでしょうか。

「悪い人を除きなさい」

3. (ア) 聖書には、罪を犯して悔い改めない人について、どうするようにと書かれていますか。(イ) 悔い改めようとしない人が、会衆から除かれることを自分で選んだといえるのはどうしてですか。

3 重大な罪を犯した人が悔い改めないなら、長老たちはコリント第一 5 章 13 節神が外部の人たちを裁くではありませんか。「皆さんの中から悪い人を除きなさい」にある指示に従わなければなりません。そこには、「皆さんの中から悪い人を除きなさい」と書かれています。悔い改めない人は会衆から除かれることを自分で選び、自分がまいたものを刈り取っていることになります。(ガラ 6:7 思い違いをして(*だまされて)はなりません。神はご自分を侮る者を大目に見ることはありません。人は自分がまいているものを必ず刈り取ることになります) その人は長老たちが繰り返し助けようとしても、それを受け入れようとしなかったからです。(王二 17:12-15 彼らは汚らしい偶像(c*へ語で「ふん」を意味する言葉と関連があると考えられる、嫌悪を表す表現)を崇拜し続けた。エホバから、「そうしてはならない！」と言われていたのにそうしたのである。13 エホバは預言者や幻を伝える人たち皆を通して、イスラエルとユダにこう警告し続けた。「悪い行いをやめなさい！私があなたたちの父祖に命じ、私に仕える預言者を通してあなたたちに伝えた律法全てに従って、私のおきてと法令を守りなさい」。14 それなのに彼らは聞かず、エホバ神に信仰を示さなかった父祖たちと同じようにずっと頑固だった(d*うなじを固くした)。15 神の規定と神が父祖たちと結んだ契約や警告として与えた教訓(*思い出させるもの)を退け続け、無価値な偶像に頼って自分たちも無価値な者になり、まねてはならないとエホバから命じられていた周囲の国の人々をまねた) その人はエホバの基準に従いたくないと思っていることを行動で示していることになります。(申 30:19, 20 私は今日、天と地を証人にして、あなたの前に、命と死、祝福と災いを置きました。あなたは生きるために、命を選ばなければなりません。あなたもあなたの子孫もです。20 すなわち、あなたの神エホバを愛し、神の言うことを聞き、神にしっかり付くのです。エホバはあなたに命を与え、父祖たち、アブラハム、イサク、ヤコブに与えると誓った土地で長く生きていけるようにして下さいます)

4. ある人が会衆から除かれたことについて発表されるのはどうしてですか。

4 悔い改めようとしない人が会衆から除かれた場合、その人がエホバの証人ではなくなったことが会衆に知らされます。*今後はそのような人のことを、排斥されたとは言いません。コリント第一 5 章 13 節の表現に合わせて、会衆から除かれたと言います。そうするのは、罪を犯した人に恥をかかせるためではありません。会衆の人が、「そのような人とは交友するのをやめなさい。一緒に食事をしてもしません」という聖書の指示に従えるようにするためです。(コリ一 5:9-11 私は皆さんへの手紙の中で、性的に不道徳な人(c*用語集「性的不道徳」参照/以下同)と交友するのをやめるようにと書きました。10 それは、この世の性的に不道徳な人(*)や、食欲な人、脅し取る人、偶像を崇拜する人と全く交友しないようにという意味ではありません。もしそうだとすると、皆さんは世から出なければならないことになります。11 それで、私は今こう書きます。兄弟と呼ばれる人で、性的に不道徳な人(*), 食欲な人、偶像を崇拜する人、ののしる人、酩酊する人、脅し取る人がいれば、そのような人とは交友するのをやめなさい。一緒に食事をしてもしません) このような指示が与えられていることには、もっともな理由があります。パウロは「少しのパン種が生地全体を発酵させる」と書きました。(コリ一 5:6 皆さんが誇っているのは良くないことです。少しのパン種(*酵母)が生地全体を発酵させることを知らないのですか) 会衆の人が悔い改めようとしない人と交友を持つなら、エホバの正しい基準に従う決意が弱まってしまう危険があります。(格 13:20 賢い人たちと共に歩むと賢くなり、愚かな人たちと関わり合うと苦しい目に遭う。コリ一 15:33 だまされて(*思い違いをして)はなりません。悪い交友は良い習慣を台無しにします(*道徳心をむしばみます))

5. 会衆から除かれた人をどう見るべきですか。どうしてですか。

5 会衆から兄弟か姉妹が除かれた場合、その人のことをどう見るべきでしょうか。交友を持つことはしません、が、救われる見込みがない人ではなく、迷い出た羊と見ます。羊は群れから迷い出たとしても、戻ってくる可能性があります。会衆から除かれた人も、エホバに献身したことに

変わりはありません。残念ながら、今は献身した人としての生き方をやめてしまい、危険な状態にあります。（エゼ 18:31 犯した全ての違反を捨て去り、新たな心と新たな精神を持つようになりなさい(d*自分たちのためにつくりなさい)。イスラエル国民よ、あなたが死ぬようなことがあってよいだろうか) でも、エホバが憐れみを示してくださる限り、戻ってくる見込みはあります。長老は、そうした人たちが戻ってくることを信じて何ができるでしょうか。

長老たちは会衆から除かれた人をどのように助けるか

6. 長老たちは、会衆から除かれた人を助けるためにどんなことをしますか。

6 会衆から除かれた人は、長老たちに助けてもらうことができなくなり、自分の力だけでエホバのもとに戻ってくる必要があるということでしょうか。そうではありません。長老たちから成る委員会は、悔い改めない人に会衆から除かれることを伝える時、戻ってくるためにどうしたらいいかも伝えます。それだけではなく、多くの場合、長老たちは罪を犯した人の考えが変化しているかどうかを確かめるために、数カ月後にまた話し合う機会をつくりたい、と思っていることを伝えます。罪を犯した人がそれに応じて実際に話し合うことができたなら、長老たちは悔い改めて戻ってくるよう温かく勧めます。数カ月後に会った時にまだ考えが変わっていないとしても、長老たちはその人と周期的に会うよう努力を続けます。

7. 長老たちは会衆から除かれた人に関する問題を扱うとき、エホバに倣ってどのように思いやりを示せますか。（エレミヤ 3:12）

7 長老たちは会衆から除かれた人に関する問題を扱うとき、エホバに倣って思いやりを示すように努力します。エホバは、不従順になったイスラエル人が悔い改めるまで何もしないでいるということはありませんでした。悔い改める様子が全く見られなかった時にも、ご自分の方から助けの手を差し伸べました。この号の 2 つ目の記事で考えた通り、思いやり深いエホバは預言者ホセアに、まだ罪を犯していた妻と和解するようにと言いました。（ホセ 3:1 エホバは私に言った。「別の男に愛され、姦淫をしているその女を、もう一度愛しなさい。ほかの神々に頼り、干しぶどうの菓子(c*偽りの崇拜に使われた)を好んでいるイスラエルの民を、エホバは同じように愛する」。マラ 3:7 父祖たちの時代以来、あなたたちは私の規定からそれ、それを守ってこなかった。私のもとに戻ってきなさい。そうすれば、私もあなたたちのもとに戻ろう」と、大軍を率いるエホバは言う。あなたたちは言う。「戻るとは、どういうことですか」と) クリスチャンの長老たちもエホバのように、罪を犯した人が戻ってくることを心から願っているのです、その人に戻りにくいと感じさせるようなことは決してしません。（エレミヤ 3:12 行って、北に次の言葉を伝えなさい。『「背信のイスラエルよ、戻りなさい」と、エホバは言う。』『「私は怒ってあなたたちを見下げることはしない。揺るぎない愛を抱いているからである」と、エホバは宣言する。』『「私はいつまでも憤慨することはないを読む。）」

8. いなくなった息子の例えから、エホバが憐れみ深い方であることがどのように分かりますか。（ルカ 15:7）

8 この号の 2 つ目の記事に出てきた、いなくなった息子の例えを思い出してください。父親は息子が家に帰ってくる姿を目にするとすぐ「走って行って抱き締め、優しく口づけしました」。（ルカ 15:20 そしてそこを出て父親のもとに向かいました。彼がまだ遠くにいる間に、父親は息子を見てかわいそうに思い、走って行って抱き締め(*首を抱き)、優しく口づけしました) 息子が許しを求めてくるまで何もしないでただ待っているようなことはしませんでした。息子のために自分の方から行動しました。長老たちも、迷い出た人たちに対して愛情深い父親のような態度を示すようにします。ぜひ戻ってき

てほしい」と思っているからです。（[ルカ 15:22-24](#) しかし父親は奴隷たちに言いました。『さあ早く、長い服、一番良いのを出してきてこの子に着せ、指輪をはめ、サンダルを履かせなさい。23 それから、肥えた子牛を連れてきて調理し(*犠牲に)しなさい。食べて祝いましょう。24 私のこの息子が死んでいたのに生き返ったのです。いなくなっていたのに見つかりました』。そして楽しいひとときが始まりました。[32](#) でも、祝って喜ばずにはいられなかった。おまえの弟が死んでいたのに生き返り、いなくなっていたのに見つかったのだ) 罪を犯した人が悔い改めて戻ってくる時、会衆のみんなが喜び、天でも大きな喜びが湧き起こります。（[ルカ 15:7](#) あなた方に言いますが、同じように、悔い改める1人の罪人については、悔い改める必要のない99人の正しい人についてよりも、大きな喜びが天にあるのですを読む。）

9. エホバは、罪を犯した人がどうすることを願っていますか。

9 先ほど考えた通り、罪を悔い改めない人をエホバが大目に見ることはありません。でも、ご自分のもとに戻ってきてほしいと思っているので、そのような人を助け続けます。エホバが悔い改めた人たちのことをどう思っているかについて、[ホセア 14章4節](#)→にはこう書かれています。「私の癒やしによって、彼らは不忠実ではなくなる。私は彼らを喜んで愛する。私の怒りは彼らから離れたからだ」。長老たちはこのようなエホバの気持ちについて考えると、悔い改めていることが分かる どんな小さなサインにも気付ける ようでありたいと思うはずです。罪を犯した人も、エホバが愛してくれていることや、戻ってきてほしいと思ってくれていることが分かって、安心できるでしょう。

10-11. 長老たちは、以前に会衆から除かれた人を助けるためにどんなことができますか。

10 以前に会衆から除かれた人たちについてはどうでしょうか。そうした人の中には、何年も前に会衆から除かれ、今はその原因となった悪いことをもう行っていない人や、自分がどうして会衆から除かれたのかを覚えていない人さえいるかもしれません。いずれにしても、長老たちはそうした人がどこに住んでいるかを把握して訪問するように努力します。会って話すことができたなら、長老たちはその人と一緒に祈ったり、会衆に戻ってくるよう温かく勧めたりすることもできます。その人は会衆から何年も離れていたなら、エホバとの絆が弱くなっていることでしょう。それで、本人が会衆に戻ることを望んでいるなら、長老たちは誰かがその人と聖書レッスンをするよう取り決めることができます。その人が会衆に復帰する前であってもそうできます。どんな場合でも、そうした聖書レッスンを取り決めるのは長老たちです。

11 長老たちは思いやり深いエホバに倣って、できるだけ多くの人を見つけ、まだ戻ってくる機会が開かれていることを伝えるよう努力します。罪を犯した人が悔い改めて悪い行いをやめるなら、遅らせることなくその人が復帰できるようにします。（[コリ二 2:6-8](#) その人には多数の人からすでに叱責が与えられており、それで十分です。7今は優しく許して慰めるべきです。その人があまりの悲しみに打ちのめされてしまわないためです。8それで皆さんに勧めます。皆さんの愛をその人に確信させてください）

12. (ア) どんな場合に、長老たちは特に注意して判断する必要がありますか。 (イ) 特定の罪を犯した人にエホバが憐れみを示すことはないと決め付けるべきでないのはどうしてですか。（脚注も参照。）

12 誰かが会衆に復帰できるかどうかを長老たちが判断するとき、特に注意が必要な状況もあります。例えば、①児童虐待をした人、②背教した人、③結婚を終わらせようと画策して姦淫などの罪を犯した人の場合、その人が本当に悔い改めているかどうかをしっかり確かめる必要があります

す。(マラ 2:14 あなたたちは『どうしてか』と言う。エホバはあなたとあなたの若い時からの妻との間を見てきた証人である。彼女はあなたの伴侶、契約した(*正式に結婚した)妻であるにもかかわらず、あなたは彼女を裏切ったのだ。テモ二 3:6 その中のある男性たちは、人々の家に入り込み、弱い女性たちをたぶらかします。その女性たちは多くの罪を負っていて、さまざまな欲望に流されており、)長老たちには会衆の兄弟姉妹を守る責任があるからです。でも同時に、心から悔い改めて悪い行いをやめているなら、どんな人でもエホバに再び迎え入れてもらうことができるということを覚えておく必要があります。それで長老たちは、信頼を踏みにじるようなひどいことをした人について注意深く判断を下しますが、こうした罪を犯した人に対してエホバが憐れみを示すことは絶対にはありません。*聖書には、許されない罪があることが書かれています。でもそれはどんな罪を犯したかで決まるのではなく、心の状態が関係しています。かたくなに神に反抗する人は許されることがありません。とはいえ、誰かが許されない罪を犯したかどうかは私たちが判断することではありません。(マル 3:29 ただし、聖なる力を冒瀆する人は永久に許されず、永遠の罪を負うのです。ヘブ 10:26, 27 もし私たちが、真理の正確な知識を得た後に故意に罪を犯し続けるなら、罪のための犠牲はもう何も残っていません。27 恐れつつ処罰を待つしかなく、逆らう人は神の燃える憤りによって焼き尽くされます)(ペテ一 2:10 皆さんは、かつては神の民ではありませんでしたが、今は神の民です。かつては憐れみを示されていませんでしたが、今は憐れみを示されています)

会衆の人たちには何ができるか

13. 戒めを受けた人にどのように接しますか。会衆から除かれた人に対してはどうしますか。

13 前の記事で考えたように、誰かが戒めを受けたことが発表される場合があります。そのようなとき、会衆の人はどうしたらよいでしょうか。引き続きその人と交友を持つことができます。その人が悔い改めて間違った行いをやめているということが分かっているからです。(テモ一 5:20 罪深い行いをやめない人を、皆の前で戒めてください。それは他の人への警告となります(*そうすれば他の人も恐れるようになります)) その人は今でも会衆の仲間であり、兄弟姉妹との交友から力をもらう必要があります。(ヘブ 10:24, 25 また、互いのことをよく考えて(*を気遣って/に関心を払って)、愛を表し立派な行いをするよう勧め(*意欲を起こさせ/奮い立たせ)合いましょう。25 仲間と集まることを怠ってはなりません。よく欠席する人たちに倣わないようにし、いつも励まし合いましょう。定められた日が近づいているのですから(*のを見て)、ますますこうしたことを行っていきましょう) でも、会衆から除かれた人に対しては、接し方を変える必要があります。「そのような人とは交友するのをやめなさい。一緒に食事をしてもなりません」という指示に従います。(コリ一 5:11 それで、私は今こう書きます。兄弟と呼ばれる人で、性的に不道徳な人(*), 食欲な人、偶像を崇拝する人、ののしる人、酩酊する人、脅し取る人がいれば、そのような人とは交友するのをやめなさい。一緒に食事をしてもなりません)

14. 会衆から除かれた人にどう接するかについて、どのように判断できますか。(写真も参照。)

14 この指示は、会衆から除かれた人を完全に無視するように、という意味でしょうか。いいえ、そういうわけではありません。もちろん、その人と交友を持つことはしません。でも、会衆から除かれた人を集会に招待するかどうかは、聖書によって整えられた良心に基づいて、各自で決めることができます。もしかすると、その中には親族や親しかった人が含まれるかもしれません。では、その人が集会に来た場合はどうしますか。以前はあいさつをすることはありませんでした。でもこの点に関しても、私たち一人一人は聖書によって整えられた良心に基づいて判断する必要があります。中には、集会であいさつしたり歓迎したりする方が心が痛まないと思う人もいます

かもしれません。とはいえ、その人と長く会話を続けたり、別の機会に一緒に時間を過ごしたりするようなことはしません。



会衆から除かれた人を集会に招待するかや、その人が集会に来た時に簡単にあいさつして歓迎するかは、それぞれが聖書によって整えられた良心に基づいて判断する。（14 節を参照。）

15. [ヨハネ第二 9-11 節](#)の指示はどんな人への接し方に当てはまりますか。（「[ヨハネとパウロは同じ罪について書いていましたか](#)」の囲みも参照。）

15 ある人は、「聖書には、あいさつの言葉を掛けるなら悪い行いに加わることになる、と書いてあるじゃないか」と思うかもしれません。（[ヨハネ第二 9-11](#) キリストの教えを踏み越え、その教えに従い続けない人は皆、神と結び付いていません。キリストの教えに従い続ける人は、父とも子とも結び付いています。

10 キリストの教えに従わない(*とは違うことを教える)人があなたたちの所に来たら、家に迎え入れてはなりませんし、あいさつの言葉を掛けてもなりません。11 あいさつの言葉を掛けるなら、その人の悪い行いに加わることになりますを読む。）でも聖句の文脈を見てみると、この指示は背教者や間違っただけの行いを広めようとしている人たちについて書かれていることが分かります。（[啓 2:20](#) しかし、とがめるべき点があります。

あなたがあのイゼベルのような女性を容認していることです。彼女は女預言者だと自称し、私の奴隷たちを教えて惑わし、性的に不道德な行為(*)をさせ、偶像に犠牲として捧げられた物を食べさせています）それで、誰かが背教的な教えや間違っただけの行いを広めようとしているなら、長老たちはその人を訪ねることはしません。もちろん、そのような人にも心を入れ替える可能性はあります。でもその人が悔い改めるまでは、私たちの方からあいさつをしたり会衆の集会に誘ったりすることはありません。

ヨハネとパウロは同じ罪について書いていましたか

ヨハネは聖なる力に導かれてこう書きました。「キリストの教えに従わない人があなたたちの所に来たら、家に迎え入れてはなりませんし、あいさつの言葉を掛けてもなりません。あいさつの言葉を掛けるなら、その人の悪い行いに加わることになります」。（[ヨハ二 10, 11](#) キリストの教えに従わない(*とは違うことを教える)人があなたたちの所に来たら、家に迎え入れてはなりませんし、あいさつの言葉を掛けてもなりません。11 あいさつの言葉を掛けるなら、その人の悪い行いに加わることになります）

パウロは[コリント第一 5 章 11 節](#)それで、私は今こう書きます。兄弟と呼ばれる人で、性的に不道德な人(*), 食欲な人, 偶像を崇拜する人, ののしる人, 酩酊する人, 脅し取る人がいれば、そのような人とは交友するのをやめなさい。一緒に食事をしてもなりませんで、会衆から除かれた人とは「交友するのをやめなさい」と言っていました。ではヨハネの「あいさつの言葉を掛けてもなりません」という言葉は、同じ状況に当てはまるのでしょうか。ヨハネとパウロは同じ罪について書いていましたか。いいえ、そうではありません。

では、ヨハネとパウロはそれぞれどんな罪について書いたのでしょうか。パウロは、性的不道德の罪を犯した人について書きました。それから43年後にヨハネが書いたのは、背教者や間違った教えや行いを広めている人たちについてでした。その中には、イエスはキリストではないと教える人たちがいました。（ヨハ一 2:22 イエスがキリストであることを否定する人こそ、うそつきではないでしょうか。父と子を否定する人、それが反キリストです。4:2, 3 預言が神からのものであるかどうかは、次のことから分かります。イエス・キリストが人間として来たことを認める預言は、全て神からのものです。3 しかし、イエスを認めない預言は、どれも神からのものではありません。それは反キリストの預言です。いずれ語られるようになるとされていたもので、すでに世の中で語られています）

ヨハネが手紙を書いた時、背教はすでに広がっていました。ヨハネはそれを完全に封じ込めることはできないと分かっていたのですが、背教に対する「抑制力」として会衆を守るためにできる限りのことを行いました。（テサ二 2:7 不法のひそかな力はすでに働いていますが、それがひそかなのは、抑制力となっている者が除かれる時までのことです）

それでヨハネは、間違った教えを広めようとする人たちにだまされないように警告を与えました。そうした人を家に招いたり、あいさつしたりしないようにと指示しました。間違った教えを広めようとする人にあいさつするなら、背教的なことを話すきっかけを相手に与えてしまうかもしれません。背教者のブログやソーシャルメディアの投稿にコメントをすることも、同じように危険です。背教者にあいさつの言葉を掛けるなら、「その人の悪い行いに加わる」ことになります

一方で、パウロがコリント第一 5 章で書いていたのは、性的不道德のために会衆から除かれた人についてでした。その人は背教者だったわけでも、神の基準を破るようほかの人をそそのかしていたわけでもなかったようです。（啓示 2:20 しかし、とがめるべき点があります。あなたがあのイゼベルのような女性を容認していることです。彼女は女預言者だと自称し、私の奴隷たちを教えて惑わし、性的に不道德な行為(*)をさせ、偶像に犠牲として捧げられた物を食べさせていますと比較。）パウロは会衆の人たちに、その人と交友するのをやめ、一緒に食事をするのもしないようにと書きましたが、簡単なあいさつをしてはいけないと言っていたわけではありません。

思いやり深いエホバに倣う

16-17. (ア) エホバは罪を犯した人がどうすることを願っていますか。（エゼキエル 18:32）（イ）長老たちは、どのようにエホバと一緒に働くことができますか。

16 この号の5つの記事からどんなことを学んだでしょうか。(ア)エホバは誰も滅ぼされたいとは思っていません。（エゼキエル 18:32 『私は誰の死をも喜ばない。悔い改めて生き続けなさい』と、主権者である主エホバは宣言するを読む。）そして、罪を犯した人と再び友情を築きたいと思っています。

（コリ二 5:20 私たちはキリストの代理をする大使であり、あたかも神が私たちを通して訴え掛けているかのようです。私たちはキリストの代理としてこう懇願します。「神と和解してください」）だからこそ、これまでずっと、ご自分のもとから離れた人たちに悔い改めて戻ってくるようにと繰り返し勧めてきました(イ)長老たちには、悔い改めるよう罪を犯した人を助けるためにエホバと一緒に働けるという素晴らしい機会があります。（ロマ 2:4 それともあなたは、神がご親切にも悔い改めに導こうとしてくださっていることを知らず、神の豊かな親切と寛容と辛抱を軽く見ているのですか。コリ一 3:9 私たちは神と共に働く者だからです。皆さんは、神が耕している畑、神の建物です）

17 罪を犯した人が悔い改める時、天でどれほど大きな喜びが湧き起こるか、イメージしてみてください。天のお父さんエホバはご自分から離れてしまった人が会衆に戻ってくるたびに、そのような深い喜びを感じています。エホバの思いやりや隣れみ、惜しみない親切についてじっくり考えましょう。そうするなら、エホバへの愛はさらに深まっていくことでしょう。（ルカ 1:78 それは神の温かい思いやりによる。この思いやりによって、神は私たちを夜明けのように照らし、）

どんなことを学びましたか

1. ある人が会衆から除かれるのはどうしてですか。

・S03 重大な罪を犯して悔い改めない人は、会衆から除かれることを自分で選び、自分がまいたものを刈り取っていることになる。その人は長老たちが繰り返し助けようとしても、それを受け入れようとしなかったため。その人はエホバの基準に従いたくないと思っていることを行動で示していることになる。

・S04 パウロは「少しのパン種が生地全体を発酵させる」と書いたように、会衆の人が悔い改めようとしなない人と交友を持つなら、エホバの正しい基準に従う決意が弱まってしまう危険があるので、その人がエホバの証人ではなくなったことが会衆に知らされる。けっして罪を犯した人に恥をかかせるためではない。

2. 長老たちはエホバの思いやりにどのように倣えますか。

・S06 長老たちから成る委員会は、悔い改めない人に会衆から除かれることを伝える時、戻ってくるためにどうしたらいいかも伝える。それだけではなく、多くの場合、長老たちは罪を犯した人の考えが変化しているかどうかを確かめるために、数カ月後にまた話し合う機会をつくりたい、と思っていることを伝える。罪を犯した人がそれに応じて実際に話し合うことができたなら、長老たちは悔い改めて戻ってくるよう温かく勧める。数カ月後に会った時にまだ考えが変わっていないとしても、長老たちはその人と周期的に会うよう努力を続ける。

・S07 長老たちは会衆から除かれた人に関する問題を扱うとき、エホバに倣って思いやりを示すように努力する。長老たちもエホバのように、罪を犯した人が戻ってくることを心から願っているので、その人に戻りにくいと感じさせるようなことは決してしない。

・S08 長老たちも、迷い出た人たちに対してぜひ戻ってきてほしいと思っているので、息子のために自分の方から行動した愛情深い父親のような態度を示すようにする。

3. クリスチャンは会衆から除かれた人にどう接するかについて、それぞれどのように決定しますか。

・S14 会衆から除かれた人を完全に無視することはないが、その人と交友を持つことはしない。でも、会衆から除かれた人を集会に招待するかどうかや、集会に来た時に簡単にあいさつして歓迎するかは、それぞれが聖書によって整えられた良心に基づいて決めることができる。とはいえ、その人と長く会話を続けたり、別の機会に一緒に時間を過ごしたりはしない。

111 番の歌 喜びはあふれる

△ 今後はそのような人のことを、排斥されたとは言いません。コリント第一 5 章 13 節の表現に合わせて、会衆から除かれたと言います。